

■特長

- ・ シロキサン結合による強固な架橋を形成し、紫外線（UV）をはじめ、風雨、寒暖など、極めて過酷な気象条件において、長期的に安定した性能を発揮します。（期待耐用年数20年以上）
- ・ セラミック成分を複合化した塗膜は、汚染物質が付着しにくく、付着しても雨などが汚染物質の内側に入り込みながら流れ落ちるため、塗装直後の美観を維持します。
- ・ 藻やかびに対する抵抗性があるため、藻やかびの発生を抑制し、清潔な住環境を保ちます。
- ・ 被塗物の変形に対して追従する可とう性のある塗膜を有します。
- ・ 海沿いの地域においても被塗物をまもります。

■被塗物素材

- ・ コンクリート、モルタル、ALCパネル、スレート板、鉄部など（鉄部には下塗り塗料としてサビ止めペイントが必要です。）
- ・ サイディングボード、硬質塩ビ（ただし、軟質塩ビには塗装できません。）

■製品要綱

種類・色	各色		
主な用途	戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築内外部壁面の超高耐候性仕様として		
容量	主剤：15kg、硬化剤：1kg		
配合比	主剤：硬化剤＝15：1		
標準塗付量(kg/m ² ・回)	0.14～0.16		
標準塗付面積(m ² /16kgセット・回)	100～114		
希釈剤	水		
希釈割合 (重量%)	ハケ・ローラー	0～15	
	エアレス	0～20	
標準塗装回数	2		
可使時間	(10℃) 8時間	(23℃) 6時間	(30℃) 5時間
指触乾燥時間	(10℃) 1時間	(23℃) 1時間	(30℃) 1時間
塗り重ね可能時間	(10℃) 6時間以上5日以内	(23℃) 4時間以上5日以内	(30℃) 2時間以上5日以内
光沢	つや有り・5分つや・3分つや		
特化則該当物質	該当物質なし		
有機溶剤表示	—		
消防法による危険物区分	主剤：水性の非危険物 硬化剤：第4類 第三石油類		
材工価格（2020年3月現在）	¥3,200.-/m ² （当該製品のみ・300m ² 以上）		

■使用上の注意事項

- ・ 塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・ 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・ 新設塗装の場合は素地に適したシーラー・プライマー・フィラー等を下塗りしてください。
- ・ つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。また、つや消しの場合、色彩によっては底つやが残ることがあります。
- ・ つや調整品（5分つや、3分つや）で仕上げる場合、1回目の上塗りはつや有りを塗装してください。
- ・ 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・ 塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・ 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・ 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される場合は外部の塗装を避けてください。
- ・ 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- ・ 吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- ・ 鉄、非鉄金属部に塗装する場合は、必ず下塗りに適性のあるサビ止めペイントを塗装してください。
- ・ 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ・ 硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- ・ 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- ・ ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ・ 標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・ 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

本内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。